

# まちの日記帳



## 美しい街並みは自らの手で 余別自治会が清掃活動

5/20

余別自治会（能代谷政敏会長・68世帯）は毎年恒例の余別本通りの「花壇の苗植え」と「道路清掃（草刈り）」を実施しました。

当初、計画されていた「余別新川の河川清掃」は水量が多いため中止となったものの、45名が参加した今回の活動は順調に進み、作業は1時間足らずで終了することができました。

今後は余別自治会の各班が交代で花壇等の維持管理を行う予定です。綺麗な街並みを形成する余別自治会の自主的な活動に感謝を申し上げます。



## 自主的な「まちづくり活動」の成果は まちづくり支援事業報告会

5/28

協働の町づくりを支え、町民の皆さんの地域活動を支援するために設けられている「積丹町まちづくり活動支援基金」を活用して平成26年度に事業を行った9団体による報告会が行われました。

今回報告を行ったのは、イベント開催や地域コミュニティ推進など地域づくりに貢献しようとする事業のソフト系事業10件と、景観形成や観光振興など施設の整備によるまちづくりに対して補助を行うハード系事業2件で、報告を行った事業者はそれぞれが懸命に取り組んだ事業を熱心に説明しました。



## 勝利を目指して一丸に 町内ソフトバレーボール大会が開催

6/3

B & G海洋センターで「第26回町内ソフトバレーボール大会」が開催され、5チーム22名が優勝を目指して1つのボールを追いかけました。

本大会には古平町からも出場チームがあり、歓声とプレーヤーの音が響く熱い戦いとなりました。

大会結果は次のとおりです。

優勝：FB-49（古平町）

準優勝：FBレッドロケッツ（古平町）

第3位：チームCC（積丹町）



## 商店街の美しい景観づくりを 町商工会が国道付近の清掃活動

6/10

6月10日の「商工会の日」に合わせて、町商工会（山本俊三会長）が今年も国道229号沿線の清掃活動を行いました。

集まった会員の皆さんは、ほうきやちりとり、草刈り鎌などを片手に美国橋から総合文化センター付近までの約1kmの雑草の除去やゴミ拾いを行い、約2時間の間、清掃活動に汗を流しました。

観光シーズンが本格化するこの時期、積丹町の美しい街並みを観光客に印象付ける同会の皆さんによるこのような活動に感謝申し上げます。



## “ふるさと” 北海道の歴史を学ぶ リフレッシュ学級「視察研修」

6/11

第2回リフレッシュ学級「視察研修」が実施され、同学級員18名が北海道博物館（札幌市）や町村農場（江別市）などを見学しました。

北海道博物館では館内に展示されている積丹町由来の展示物を探すクイズ形式の研修も行われ、参加者は積極的に知識を深めるべくクイズに参加していました。

充実の研修を終えた帰路では、じゃんけん大会などのレクリエーションで親睦を深めるなど、ふるさと北海道の歴史を学ぶ視察研修に参加者は大満足の様子でした。



## 水道はどうやって蛇口まで？ 小学校児童が簡易水道施設を見学

6/17

日司・野塚・余別小学校が共催する今年度の「郷土学習の集い」が実施され、同校の3・4年生5人と教員4人が野塚ウエンド地区にある浄水場を見学し、施設を管理する町担当職員から説明を受けました。

児童は、浄水場内の配水池や塩素薬注入機器などを見学しながら、「水道水がどのように造られているか」や「各家庭の蛇口までどのように配水されているか」などを熱心に学んでいました。

また、通常では触れることのない水道管や開閉弁のハンドルに触れる機会も設けられ、豊かで安心・安全な水道水の重要性について理解を深めていました。



# まちの日記帳